

委員会報告：

親睦活動委員会

10/24（火）3 R C合同例会18：30点鐘、会場 V I Pです。アトラクションは新潟高橋竹山会によるロータリー民謡です。出欠表を回しますのでご記入下さい

ニコニコボックス：	3日現在累計 340,000円
-----------	-----------------

渡辺 喜彦 君（三条R C）何はともあれ秋らしくなりました。今日もお世話になります。

山 崎 勲 君 ライラ研修御苦勞様でした。

梨本 清一 君 また今日も所用で早退をお許し下さい。

落合 益夫 君 ライラ研修生の金子さん、押野見さんご苦勞さまでした。

羽賀 一夫 君 先月の月間コメント賞は該当者がいなかったので来月にキャリアオーバーし2倍にしようと思います。拍手を持って承認に変えさせて下さい。

斉 藤 正 君 誕生日を迎えると生きている感動をその背中合せにあるお迎えのこともしみじみと思う。

石川 友意 君 小田さんのおとなりになりましたので。

長谷川恵慈君 ライラ研修御苦勞様でした。芦田さん久振りですね、又、よろしく願ひします。

丸山 誠一 君 芦田さん待ってたヨ、／

小田登志男君 芦田前スマイル委員長の復会を喜んで居ます。

久 保 博 君 芦田さんおひさしぶりです。待っておりました。

早川 龍雄 君 久々の芦田さんのアカヌケした顔を見てうれしくなっちゃってひとくち。

馬場直次郎君 ライラ出席の皆さん大変ご苦勞様でした。研修生の金子さん、押野見さんの体験談楽しみに聞かせていただきます。

外山 晴一 君 長谷川さん西村さんにはライラ研修で弊社の押野見、金子両名がお世話になり大変ありがとうございました。

芦田 義重 君 先月山崎会長さんや皆さんから暖かい出席のラブコールを載き本当に感謝致しております。今日半年振りにバッチを付けての出席です。今後共宜しく願ひ致します。

* 本日の食事： クラムチャウダースープ、鰯のアーモンドやき、サラダ、ゼリー

ライラ研修報告会：

ライラ委員長長谷川博一会員

今回のライラは、新潟と群馬二県での最後の研修でくたが、二県99クラブのロータリアン・ローターアクト、インターアクトの研修生活460名参加がありましたが、主催者の高田東R Cとホスト

の高田RC、高崎シンフォニーRC、十日町RCの方も含めると総勢530名という大人数でした。

研修テーマは『見て、聞いて、行動して求めよう感動を。』ということで、日本在来の伝統とハイテクを色々な面から具体的に体験した。日本の心についての講演にはじまり、抜刀道、落語、キャンプファイヤーで一日目を終わり、二日目は自衛隊関山演習地で野外研修、全員での野外炊飯（カレーライス）茶道教室、座禅教室、謡曲教室、夜はシンセサイザー演奏とソプラノ独唱のライブコンサート、三日目は携帯電話についての講演、最後にガンダーラ作曲者であるタケカワユキヒデのライブコンサートがあり閉会した。若い人達のはじめて体験することも多かったと思う。抜刀道は四寸（直径）のむしろの円柱をものみごとに日本刀で切り、その切り口を皆んなで見て、切れ味のよさにおどろいていた。これはたぶん多くの人がはじめて見たであろうと思う。落語は真打の柳家喜多八で一時間、落語に了された。さすがは本物と思われた。茶道、座禅、謡曲とそれぞれ約一時間の体験だが、それぞれ日本の心を知る切り口となったかどうか。自衛隊関山演習場では、基本習練（きおつけ、やすめ、方向転換。）とロープの使い方実習、これは役に立ちそう。機械の見学で、これも日頃体験できないこと。

ハイテクということで、携帯電話とiモードの実演、シンセサイザーの機能と実演、約四百近い色々な音が出せるのには皆おどろく。宇宙船の飛ぶ音から動物のなき声まで本々に色々。最後はやはり人間の声の素晴らしさということでソプラノの山崎さん、ゴダイゴのタケカワさんの熱唱に全員で感動していた。山崎さんもタケカワさんも、二人共、現在も第1人者として活躍されている方で紅白にも出演している実力派。若い方にとってはこのライブコンサートが一番うけているようにも思われた。

ここまで企画された高田東RCは本当に大変だったと思う。一年がかりの準備と言っておられた。事故ひとつなく終えたのは何より。来年からは新潟と群馬にそれぞれが分かれてやることになる。新潟は十日町クラブが担当。今年からと聞いたが未成年者をのぞく飲酒がゆるされることになったこと。各室でなく、談話室のみで。ここは二時頃までさかんに交流がされていた。講師十名というごうかさ。ただ、時間の都合で広くあさくという面は仕方のない所と思う。若い方達にとっては良い経験であったと思う。

研修生 金子雅俊君

総勢400人を越える人数が一つの宿舎に集まり、胸の中「不安」の一言でいっぱい開会し、今無事に終えたばかりの自分の率直な気持ちは、ホッとした気持などではなく、三日間が二日間に感じた様な「もう終わり」というものでした。それは茶道、座禅、抜刀道など、自分にとって初めての体験が多く、またキャンプファイヤーや野外炊飯の行事で知らない人ともふれあうことができ「不安」という言葉が一瞬にして消されたからなのです。

「日本の心と文化」を受講し、自分達が他国製のものを日本の文化と思いこんでいたんだと知らされました。またこれから私達が生活していく上で役立てたいと思ったのが外国人の様に判らない